

事務事業名	水処理センター運転管理事業			担当	上下水道部 下水道課 水処理センター		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり		増補版施策名			
施策名	2	下水道事業の推進		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	下水道法				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和57年度～）		
予算科目	9.公共下水道事業特別会計	1.公共下水道	2.施設管理費	1.水処理センター管理費			
事業概要	<p>真岡市の水処理センターは、快適な市民生活環境の確保と、河川等の水質保全を目的として計画された施設で、市民の生活排水等を浄化している。水処理センターは、昭和58年3月から供用開始し、標準活性汚泥法により水処理系列は3系列、処理能力は21,760m<sup>3</sup>/日で、処理水は五行川に放流している。また、二宮水処理センターは、平成7年3月から供用開始し、オキシデーションディッチ法により処理系列は2系列、処理能力は1,750m<sup>3</sup>/日で、西川に放流している。</p>						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
31年度実績	<p>水処理センターでは、流入汚水を水処理設備（沈砂池・最初沈殿池・エアレーションタンク・最終沈殿池）で処理を行い減菌後五行川へ放流し、汚泥は、汚泥処理設備（濃縮槽・消化槽）で減量化し、脱水後搬出し焼却や肥料化を行った。</p> <p>二宮水処理センターでは、水処理設備（沈砂池・エアレーションタンク・最終沈殿池）で処理を行い減菌後西川へ放流し、汚泥は汚泥処理設備（濃縮槽）で減量化し脱水後搬出し肥料化を行った。</p> <p>設備の保守管理を専門性、効率性を考慮して民間業者に長期（3年）継続委託している。</p> <p>また、2ヶ所の施設・設備等の定期的な点検等を行った。</p>						
2年度計画	前年と同様						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
水処理センターへの流入水（各家庭等からの生活排水）の年平均流入水質（生活排水の水質）	<p>BOD：水中の有機物を分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したもので、BODの値が大きいかほど、水質は悪いと言える。</p> <p>SS：水中に浮遊する物質の量をいい、水の濁りの原因となり、SSの値が大きいかほど、水質は悪いと言える。</p>						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
生活排水等をきれいな水に変え、放流水の水質を法に適合させる。「下水道法」による排水基準は、BOD15mg/L以下・SS40mg/L以下であり、栃木県で定めた「水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める条例」による排水基準は、BOD20mg/L以下・SS70mg/L以下である。	<p>放流水の水質（BOD）</p> <p>放流水の水質（SS）</p> <p>市民意向調査「河川の水質」の「良い」の割合</p>						
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
快適で衛生的な生活環境づくりと公共水域の水質汚濁防止。	<p>放流先河川（五行川）の水質（BOD）</p> <p>放流先河川（西川）の水質（BOD）</p>						

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	237,485	245,797	274,463	299,478	305,589
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	237,485	245,797	274,463	299,478	305,589	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	4,918	4,938	4,959	4,959	4,959
		人件費計(B)	千円	20,424	20,493	20,674	20,049	20,049
トータルコスト(A)+(B)		千円	257,909	266,290	295,137	319,527	325,638	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	水処理センターは、快適な市民生活環境の確保と河川の水質保全を目的として、昭和58年3月、二宮水処理センターは平成7年3月から、公共下水道の一部供用開始に伴って汚水処理を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	両水処理センターとも、処理区域の拡大に伴う流入水量の増加に対応するため、水処理施設の増設を行ってきており、現在では、水処理センターは水処理施設の増設は完了、二宮水処理センターは1/2が完成している。水処理センターは、現在は3系列6池（処理能力21,760m <sup>3</sup> /日）で処理している。また、供用開始後37年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。なお、資源化循環型社会構築のため、汚泥・発生ガスの有効利用を推進している。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	運転管理委託業者から施設全般の老朽化が進み、運転管理業務に支障があるため施設の修繕及び更新の要望がある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 生活排水を浄化して排出することにより、生活環境の改善と公共水域の水質保全に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 下水道法により、公共下水道の維持管理は市が行うので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 流入汚水を排水基準以内に処理し適正な維持管理をしているので、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 流入汚水が排水基準以内を満たしているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 生活排水が適切に処理されず、公共水域を汚濁するなど生活環境に重大な影響を及ぼす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費の削減は処理能力の低下を招く。また、不良箇所の発見・修理の遅れの原因になる。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 委託できるものは委託しているので、削減余地がない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者から下水道使用料を徴収しているため、公平、公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							